

The Refugee Camp Improvement Project Phase2

PALCIP2 NewsLetter #3

難民キャンプのコミュニティグループがクラウドファンディングに挑戦！

プロジェクトについて

本プロジェクトはパレスチナ自治区ヨルダン川西岸地区にあるパレスチナ難民のキャンプで、住民参加と社会包摂を重視した「キャンプ改善計画(CIP)」の策定を支援しています。プロジェクトでは、住民たちが決定したCIPを実現するための資金調達手段を検討しており、その取り組みのひとつとして難民キャンプに対しクラウドファンディング研修を行いました。



Jalazone難民キャンプでの研修の様子

クラウドファンディングに挑戦！

研修を受けキャンペーンの実施を希望した団体は、プロジェクトの専門家や難民問題局 (DoRA) に加え、現地コンサルタントの支援を受けながら、クラウドファンディング・プラットフォーム(LaunchGood)に申請を行いました。しかし、パレスチナは国際送金上リスクの高い地域と見なされ、厳しい条件を満たして申請が認められたのは1団体にとどまりました。それでも関係者はあきらめず、申請が認められた団体と同じキャンプの2団体が提携し、「学習障害のある子どもの治療教育を支援してください」「糖尿病の子どもや患者のため健康食材店と組合を設立したい」「冬に備え洪水対策を支援してください」という3つのキャンペーンを立ち上げました。

直面した難しさ

立ち上げ後も道のりは簡単ではありませんでした。クラウドファンディングはまだパレスチナでは普及しておらず、各団体はその仕組みの理解、英語の文書準備、支援者や知人・友人への支援依頼・広報など、多くの慣れない仕事に直面しました。それでも、立ち止まりながらも協力し、次第にコツをつかんでいきました。



「糖尿病の子どもや患者のため健康食材店と組合を設立したい」のキャンペーン

今回の成果

3つのキャンペーンは今年の6月から1ヶ月間、イスラム教の祝日で寄付が推奨される「イード・アル=アドハー (犠牲祭)」の時期に行われ、合計8,670ドルを集め、各団体は多くを学びました。その後、2団体はキャンペーン期間を延長し併せて11,015.69ドルを追加で集めることに成功しました。本プロジェクトの支援の下で先行して開催された別プラットフォーム (Airfunding) でのキャンペーンが1,500ドルを集めており、この経験も今回のキャンペーンに活かされました。プロジェクトでは引き続き、クラウドファンディング実施へのサポートを行っていきます。